

令和 7 年 4 月 7 日(月)18 時 00 分～20 時 00 分

第 1 回 世田谷区産業活性化拠点事業評価委員会

会議の概要

- ・委員長及び副委員長の選任について
- ・評価委員会について
- ・令和7年度事業計画(案)及び成果指標(KPI)について

委員長及び副委員長の選任について

委員長:長山 宗広

副委員長:島田 成年

評価委員会について

事務局より評価委員会の設置経緯、設置目的、評価対象について説明した。

令和7年度事業計画(案)及び成果指標(KPI)について

事務局より事業計画(案)及び成果指標(KPI)について説明し、以下の意見を受けた。

意見の内容	意見に対する対応
<u>成果指標【KPI】について</u>	
アクセラレータプログラムの実施について、「支援社数」の数値は累計になるのか。年度ごとの延べ件数の場合、かなり厳しい目標設定であると感じる。数値のカウントの仕方を運営事業者と確認しておくべき。	単年度ごとの延べ件数としてカウントする。
ソーシャルインパクトについて、想定している算出方法だと正確な意味でのソーシャルインパクト数値には該当しないのではないか。改めて定義の確認と名称の変更を検討すべき。	ソーシャルインパクトの名称を「地域や社会課題への影響に関する目標達成割合」に変更する。
<u>コンセプト実現のための取組み</u>	
様々な取組みに対し、対象は企業だけでなくNPO等も含めてもらいたい。	「区民・事業者に開かれた場 広場(校庭)」の「社会実践による企業との連携」を「社会実践による企業、NPO、大学等との連携」に変更する。

総合評価の要素、次年度計画への反映について

評価委員会の評価はKPI達成状況だけではなく、施設運営状況、客観的評価等による総合評価となっているため、以下の内容も評価の視点として組み入れてはどうか。

- ・教育委員会やスポーツ、環境関連部署との関わり
- ・区内雇用への影響
- ・居心地の良い空間の提供、空間の質の向上
- ・高校生、大学生など学生の関わり、起業支援など
- ・施設での取組みに対する住民の認識、評価
- ・子育て環境(不登校など)への貢献
- ・年配者に対する事業提供
- ・KPIを含め、各取組みの野心的な目標値の設定
- ・本施設外での取組みの実施

次年度の事業計画と令和7年度実績報告書への反映について検討していく。